

私たちは敗戦をどう迎えたのか

かさぶた 1945年8月15日の痂

～あらためて近代史を学ぶ～



提供：フリー百科辞典ウィキペディア

様々な歴史の見方（歴史観）がある中でどのような歴史観が正しいかを問うことは、お互いの＜正しさ・正義＞を押し付けあうこととなります。今回の講座では何が正しいか＜正義＞を追求する代わりに＜現実に出会う＞ことを通してこれからの日本の針路について共に考えます。

痂（かさぶた）とは、古い傷がいつまでも癒えずに残り、完治しない状態を言います。私たちは敗戦をどのように受け止めて今に至っているのでしょうか。そもそもあの太平洋戦争はどんな戦争で、どのような経過を辿り、多くの尊い人命を犠牲にしていったのでしょうか。



提供：フリー百科辞典ウィキペディア

	月日	テーマ
1	5月30日	1941年12月8日「宣戦の詔勅」 ～ 歓喜で迎えられた「大東亜戦争」～
2	6月6日	1942年6月～ミッドウエー海戦から「七つボタン」へ ～ 敗戦に学ばなかった陸・海軍～
3	6月13日	1943年5月～ 餓死者を見捨てて、「大東亜会議」へ ～ ペンを銃に持ち替えてへ～
4	6月27日	1944年1月～サイパン陥落から日本の空襲へ ～ 「死は鴻毛よりも軽し」～
5	7月4日	1945年3月～ 新型爆弾投下とポツダム会議 ～ 「アラモゴード」から「フクシマ」へ～
6	7月18日	1945年8月15日日本人のところに反省を生まなかった「終戦の詔勅」 ～ 痂（かさぶた）の正体とは～

（時間は、いずれも各土曜日午後1時30分～3時30分）

講師：宝塚市立宝塚中学校 教諭 本田 芳孝さん

場所： 尼崎市立園田公民館 学習室 3.4

申込先： 尼崎市立園田公民館

申込方法： 電話又は直接、来館（5/7～）

（日、祝を除く午前9時～午後5時30分）

定員：30人 受講料 無料

尼崎市立園田公民館

電話 06-6491-5496

〒661-0982 尼崎市食満2丁目1番1号



宝塚聖天光明殿（宝塚市宝塚）

～ 公民館は学びを通して人と人が手を結び大きな輪となり地域の力となることを応援します。～